



NPO 法人
鞆まちづくり工房

NEWSLETTER 創刊号

発行 / 2003. 9. 10
NPO 法人 鞆まちづくり工房
〒720-0201
広島県福山市鞆町鞆850-1
TEL/FAX : 084-982-0535
e-mail : npo-tomo@vesta.dti.ne.jp
HP : <http://www.vesta.dti.ne.jp/~npo-tomo/>

まちづくりは 『過去・現在・未来』



会長 松居秀子

不思議なものだ。

昨年春には、まだ「NPOって何？」と言った感じの我々が、1年後の6月にNPO法人の認証を受けた。

NPO, NGOを日本に深く印象づけたのは一昨年のアフガニスタン東京会議での、NGO ボイコットでの『鈴木宗夫 VS 大西健丞』だろう。

縁あって、その以前より顔見知りだった大西さんやE&G研究所の村田さんから何度も話を聞いていたのだが、私の身にはなってこなかった。そんな折、一冊の本を手渡された。「志は国境を越えて」だった。

ビビビ…ガガーん！！ 海外支援のためのNPO, NGOはこんなにも多く存在し活動しているのか。これも私にとっては不思議なことだった。

「今の日本を見て！子どもたちも大人も皆豊かな難民だ。こちらも助けて欲しいよ。」少しずつNPOの存在意義がわかってきた。

2002年「全国町並みゼミ鞆の浦大会」において、NPOとまちづくりを取り上げた。それを機に、NPO設立に向けての動きが加速した。

そして、12年間の鞆港保存運動、鞆のまちづくりを通じて成長してきた仲間達と我々を支え続けてくれた有志たちによって、不安と期待と怒りと希望を持ってNPOは設立された。

「私たちは、古いものを残すのではなく、美しいものを残し創るのだ。」

NPO 法人鞆まちづくり工房の紹介

目的は……

長い時間かけて先人達が育んできた歴史的環境の素晴らしさを引き継ぎ、町並みや港湾施設、伝統的な産業など、歴史的遺産を活用したまちづくりを提案し、実践すること。



事業内容………

- 1 鞆地区、瀬戸内海地域の歴史的資源を活用したまちづくりの提案
- 2 歴史的環境の啓発・「鞆の浦シンポジウム」の開催、地図作りの実施
- 3 空家などを活用した住まい、店舗などの創出、空家バンクを促進する事業
- 4 瀬戸内の港町ネットワークを促進する事業
- 5 環境教育に係る調査研究および普及啓発
- 6 こどもを対象としての町並み調査研究、鞆港内生物調査等の啓発活動
- 7 高齢者の各種地域活動の扶助（高齢者の社会参加への手助け）
- 8 高齢者ホームレスキュー相談室



＝情報発信・交流の場を創出＝ 「四つ角」のお店を改修

一軒の空き家を情報発信・交流の場として改修する事業です。

鞆町内唯一の四つ角に建ち、数年前まではお菓子屋さんでしたが今は空き家となっている家を、まちづくり活動の事を知っていた家主さんが‘何かに活用してくれれば…’と提供して下さいました。今年一年、みんなでワークショップをしながら改修します。

この場所には、今まで学んだ鞆の町と暮らしに関する多くの事柄や、鞆の浦シンポジウム、日大による鞆港港湾施設調査、東大の鞆雑誌などの資料を展示し、観光案内、休憩、貸しギャラリーなどの機能を持たせ、フリースペース的に開放し、鞆を訪れる様々な人々、また鞆の人にも使って頂き、自然に交流が生まれるような空間によみがえらせようと考えています。

※今年一年の改修を「鞆学校」が、管理運営を鞆まちづくり工房が担当します。

◎今後の進行予定

2003年7・8・9月—工事,

10・11・12・2月—第16～19回鞆学校,

2004年3月 完成式典

鞆学校とは・・・町を教科書に体感しながら、まちを学び・遊ぶ。今まで当たり前に見て、過ごしていた私達のまちを違う角度で見直してみよう！と、2001年6月から月に一回開催されてきました。毎回テーマはいろいろ。鞆のお祭りの由来を地元の長老から学んだり、鞆港湾内の生物調査や、日本大学とのワークショップで、石組み・石垣のスケッチをしたり、東大とのワークショップでは、大工さんとの縁作りなどを体験しました。そして全13回のまとめとして「てづくりともものうらまっぷ」を作成しました。

福山都市圏

民家再生集いの場に

「情報交差点」住民の手で

福山市鞆町の市民グループ「鞆まちづくり工房」は、町内の空き家を一年かけて再生する取り組みを計画している。二十日に開く初会合に合わせ、年間の参加者を募る。



以前は駄菓子店だった空き家。来年3月には「情報交差点」として生まれ変わる

鞆のグループ 活用方法検討し改装へ

空き家は、戦後に建てられた木造二階建て。以前は駄菓子店だった。近くの住民には通称「四つ角の家」として知られている。再生を通じて、人と情報が行き交う「情報交差点」を目指す。

初会合は、二十日午後一時から。空き家で東京大大学院生らを講師に、家の使い方について意見を交換。六月には内装のデザインについて話し合い、十一月には地元の大工から指導を受けながら、すや机などを作る。三月までに六回集まり、有効なスペースに改装する。

松居秀子代表全三は「二年間通して街づくりの楽しさをもに味わってほしい」と呼び掛けている。

参加費は百円。鞆まちづくり工房084(9802)0535。



龍馬ゆかりの家（旧魚屋萬蔵宅）を購入

読売新聞 2003年8月29日

福山市が重要伝統的建造物保存地区（重伝建）選定に向けて指定した地区内で多くの空家、駐車場が目立つようになりました。その中でも「いろは丸」沈没をめぐる、坂本龍馬率いる海援隊と紀州藩が談判をした魚屋萬蔵宅が2年前より空家となり、今年売りに出され、なかなか買い手のつかないままとなり、このままでは取り壊しの恐れがでたために、NPO法人鞆まちづくり工房が寄付を集め保存する事を決定し、今後の鞆の浦の活性化に少しでも役立てたいと活動をはじめました。

以前この建物は呉服店として使用され、お年寄りの住まいとして長い間改修されることなく使用されていたために傷みのひどい箇所が多く、多額の改修工事が必要です。

また 他の空家について今後調査を進めていきますが、すでに売りに出されている建物が数軒あります。それらの建物も先ほどの鞆町伝統的建造物群保存地区内にあり、早急はその保存に向けて活動をはじめなければならない状況です。

そのような事を踏まえて、この魚屋萬蔵宅の改修工事を進めていきたいと思えます。まずは、その改修費用の募金活動をはじめますので、皆様ぜひ御協力を御願い致します。



旅籠への改修が計画される坂本龍馬ゆかりの空き家（福山市鞆町で）

龍馬ゆかりの空き家 NPO が購入

いろは丸賠償交渉の舞台

江戸期の旅籠を再現

福山市鞆町の非営利組織（NPO）法人「鞆まちづくり工房」（松居秀子代表）は、十八日、同町にある坂本龍馬ゆかりの江戸末期建築の空き家を購入。港町の風情を伝える民宿「旅籠いろは」（仮称）に改修する構想を発表した。改修費に五千万円かかる見込みで、龍馬ファンらに寄付を募り、来春のオープンを目指す。

町役人、旧魚屋萬蔵宅 される。で、木造二階建て延べ約 呉服店となっていたが、三百三十平方メートル。四月下旬に売りに出された。七年四月、龍馬ら海援隊 ものの買い手がなく、更地の志士が乗る蒸気船「い にされる恐れもあった。たろは丸」が紀州藩の船と め、同上房が今月十二日に衝突、沈没した事件の暗 約千百万円で購入。国際協力交渉の舞台となったと 力活動に取り組むNPO法

福山の鞆まちづくり工房 来春オープンへ寄付募る

人「ピース・ウィンス・ジャパン」（東京都世田谷区）の大西健丞氏から融資を受けた。

トタンやシャッターを取り外すなどの修復を行い、学識者の意見を参考に江戸期の旅籠を再現する。いろは丸にちなみ、内装に船具も使う予定。寄付者には、旅籠への招待や名前を記した陶板を屋敷内に保存することなどを検討しているという。松居代表は「行政やほかのNPOとも連携して、鞆の歴史の風化に歯止めをかけた」としている。問い合わせは同工房（084・982・0535）



福山市鞆町伝統的建造物群保存地区

改修工事推進へ ～募金のご協力を～

目標 **5,000万円**

※募金の口座

5ページを
ご参照ください。



瀬戸内海は一つの文化圏 「世界に通じるまちづくり」へ向け 「港町ネットワーク・瀬戸内」を結成

’98年から、大学・住民共同で鞆の浦の歴史的
文化・土木遺産を調査し、鞆の浦の貴重な価値を
立証してきました。そこから見えてきた事は、豊
かな瀬戸内の暮らし・文化・風土・歴史遺産は全
てこのたぐい稀な瀬戸内海の自然の恵み、日本の
大動脈として発展した海の道からもたらされたも
のに他ならないとの認識に至りました。今一度、
瀬戸内を見直す必要があるのではないかと、瀬戸
内に島々や港町に呼びかけ、ネットワークを発足
しました。これからは、交流会、勉強会、情報交
換を通じて、瀬戸内海を一つの文化圏と捉え「世
界に通ずるスタンダードな町づくり」に力を合わ
せて取り組む所存です。

●今までの活動

- ・「第25回全国町並みゼミ鞆の浦大会—
大会3日目シンポジウム‘港町ネットワーク’」
2002年9月23日(日) 福山市鞆町公民館
- ・「瀬戸内ネットワーク準備会in瀬戸田」
2003年6月21日(土) 豊田郡瀬戸田町公民館
- ・「第1回港町ネットワーク・瀬戸内」
2003年7月12日(土) 弓削商船高等専門学校
白雲館



- ・「港町ネットワーク・瀬戸内」全体会議
2003年9月6日(土)、鞆の浦 円福寺で開
かれました。内容は、‘港町ネットワーク’の
方向性、方針、一年間のプログラム立てと今後
の運営についてです。

おてきなスタッフ紹介

事務局員 浜下志津子

鞆まちづくり工房の事務局をやっています、浜下です。よろしくお願ひします。よく「事務局長さんですか?」と聞かれますが、‘長’も何もここには私1人です。日々のんびり‘鞆時間’で苦手な事務作業をさせて頂いております。ここは事務局と言っても、代表の松居さんが近所のおばあちゃんから空家を借りて、好きな陶器や布小物と簡単な喫茶ができる空間へと改装した小さなお店(空家再利用の一環です)に電話とパソコンを置いて‘事務局’にさせてもらったという所。お店番と事務局とで、イベントや会議前などの忙しい時は少し大変です。どうしてもお店としては臨時休業になりがちでご迷惑おかけしてます。でもこのお店のおかげで全国各地、たまには海外から来られる方々に出会えるし、鞆生まれ鞆育ちの私が思うのとはまた違った鞆の浦を教えるので楽しいです。いろんな意味で勉強になります。

事業はでかいが組織は小さい私達、これからどんな活動をしていけるのか正直心配ですが、それぞれの得意とするところを活かしたまちづくり活動ができるよう、何より楽しみながらやっていきたいです。これからも応援よろしくお願ひ致します。



鞆の名産紹介：保命酒

保命酒とは・・・

江戸時代（1659年）から備後・鞆の津に伝わる地酒で、十六種類の漢方薬を浸け込んだお酒です。江戸時代には福山藩の保護を得て「元祖保命酒屋（中村家）」のみが、製造&販売を許され、福山藩を介して全国に販売していったお酒です。常用により「延命効果」があるとされ、「保命」の名で呼ばれる様になり、第2次世界大戦中までは「御薬酒・十六味地黄保命酒」として広く知られました。幕末の黒船来航の際、ペリー一行をもてなした酒として、また戦時中には「帝國医科大学御用品」として使用されております。

今日、長年の伝統を守り続けてきた4軒の蔵元が残っております。

保命酒屋 4軒店舗

- ・ 鞆酒造(株) 所在地 電話
 広島県福山市鞆町鞆1013 084-982-2011
- ・ (株)岡本亀太郎本店
 広島県福山市鞆町鞆927-1 084-982-2126
- ・ 入江豊三郎商店(有)
 広島県福山市鞆町鞆534 084-982-2013
- ・ 八田保命酒舗
 広島県福山市鞆町鞆531 084-982-2453



保命酒の醸し方・・・

もち米・麴・焼酎で醸します。醸造過程では麴による働きで、もち米の糖分を採取し、甘口のお酒になります。このお酒の中に十六種類の漢方を直接浸け込み、薬味を抽出します。何故保命酒は甘いのかと申しますと、中村家の時代より薬味による風味を和らげる為に甘口の酒を利用したと考えられます。もともと鞆の津では、薬味を浸け込む前の甘い酒を飲む風習があった土地柄でした。後に分かった事ですが、ベースとなる甘いお酒には、自然のアミノ酸が多く含まれ、これも健康にとっても良いのです。



江戸時代の繁栄がしのばれる保命酒蔵



保命酒に使われる十六種類の漢方薬

※3ページから

募金の口座

- ・ 郵便貯金 01380-4-78063
- ・ 中国銀行 鞆支店 普通 1112277
- ・ しまなみ信金 鞆支店 普通 9613292
- ・ 広島銀行 鞆支店 普通 3003487

口座名義

特定非営利活動法人 鞆まちづくり工房
代表 松居秀子

ご寄付額

1,000円…修復一般公開1名ご招待券
 (公開はHP上で発表)
10,000円以上…修復時登板に記名
 (屋敷内保存)



鞆の町並み紹介

太田家 (中村家)

国指定重要文化財 太田家住宅

広島県福山市鞆町鞆842 ☎ 084-982-3553



太田家住宅

開館時間 10:00～17:00 (入館は16:30迄)
 休館日 火曜日 (祝日の場合は翌日)
 年未年始 (12月28日～1月3日)
 入館料 中学生以上 400円 (320円)
 小学生 200円 (160円)
 * () 内は20人以上の団体料金

「好きなところ」

水 際

理事 鈴木辰夫

波打ちぎわは、五彩の光りです。港の東西。雁木に漂い寄せる漣と、砂浜を洗うやわらかい潮騒いの音です。寂びたけしきの古風をつたえる調べです。

遠近の人たちに鞆への興味を問うてみました。みんな「町の古さに浸りたい」ということでした。

故因をなくしたこの国で、わずかに残された珠です。大事に思いたいものです。

—このゆうべ所縁はふかし山かげの

深満しほを聞かざらめやも

中村憲吉



<インターネット> HP の紹介

鞆まちづくり工房には、HP (ホームページ) があります。

このHPを通して『ここを見れば、鞆が分かる! 鞆に来たくなる!』そんな情報を発信していく予定です。さて、気になる中身は…

『まちづくり工房の活動』と『鞆のまち情報』の2つを大きな柱として、それぞれに、幾つかのトピックスがあります。

『まちづくり工房の活動』では、活動の予定や報告、まちづくり工房オリジナル商品の紹介etcを紹介します。

『鞆のまち情報』では、散策マップやまちの歴史、行事、お土産、鞆に住む人々の声、etc、etcを紹介します。

他にも、お楽しみ企画をいろいろ考えていますので、徐々に充実したサイトになっていく予定です。皆様の「お気に入り」に入れたくなる! そんなサイトになりますよう。

編集後記

鞆らしさをこそと、
がんばって見ました。
編集担当 むらた